Feb.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

１．適用範囲

本書は、DF52 シリーズ圧着端子をケーブルに圧着して、圧着ケースに端子を挿入するまでの手順について規定するものです。

２．コネクタ品名

品　　名	一般名称	備考
DF52-2832PCF(##)	圧着端子	適合電線：AWG28～32
DF52-＊P-0.8C(##)	圧着ケース	

＊=極数、(##)=仕様番号

３．ハーネス手順

3.1.ケーブルストリップ

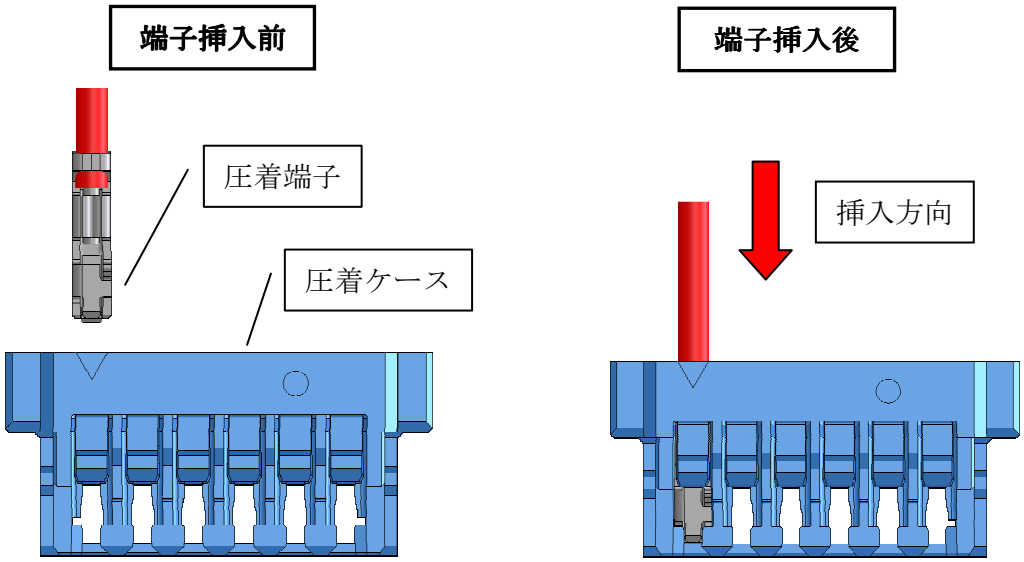
圧着品質基準書（ATAD-H0789）に基づき、ケーブルのストリップを行います。
その際、ケーブル芯線に傷が入っていないかの確認を行って下さい。

3.2.圧着工程

アプリケーター（AP105-DF52-2832P）を用いて圧着を行い、圧着条件表、
圧着品質基準書（ATAD-H0789）に基づき、圧着ハイト、圧着形状を確認します。

3.3.圧着端子ソケット挿入

圧着された端子のケーブルを持って、圧着ケースの各端子穴に挿入します。
（下図の矢印方向に端子を挿入。）



	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
△2	1	DIS-H-00000006	TH.YOSHIZAWA	KI.AKIYAMA	15.01.07

名　称　TITLE

DF52 シリーズ ハーネス手順書

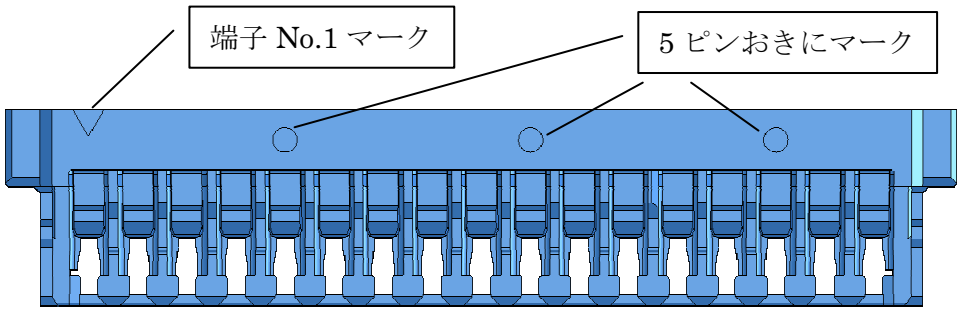
HIROSE ELECTRIC CO.,LTD.

APPROVED	KI.AKIYAMA	14.05.22
CHECKED	HK.UMEHARA	14.05.21
DESIGNED	TH.YOSHIZAWA	14.05.21
WRITTEN	TH.YOSHIZAWA	14.05.21

技 術 指 定 書　TECHICAL SPECIFICATION　ATAD-H0791　△2　1 / 3

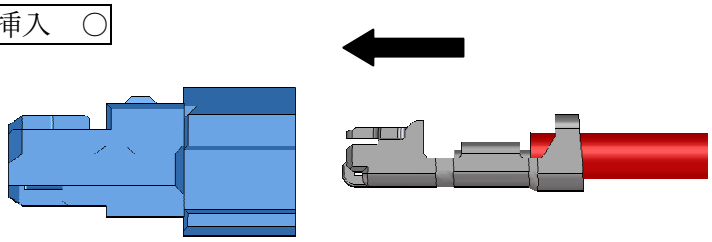
FORM HC0011-9-1

・圧着ケースの端子 No.表示は以下の通りです。
（下図は DF52-17P-0.8C の場合。）

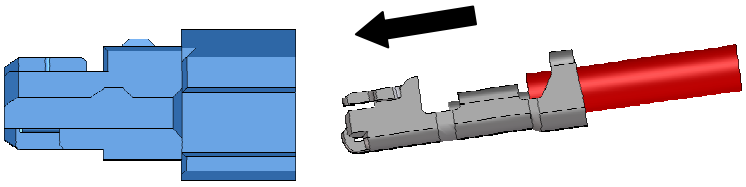


△2・性能信頼性を維持するため、圧着端子を斜め挿入（上方向）は行わない下さい。

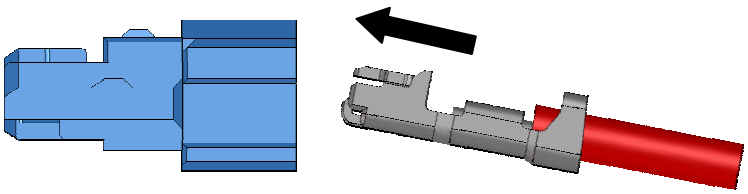
水平挿入　○

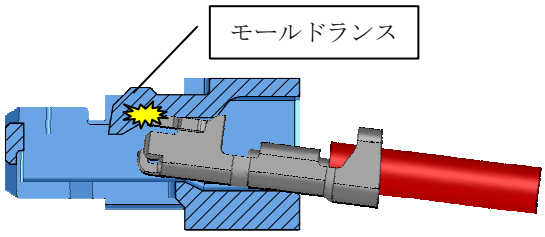


斜め挿入（下方向）　○



斜め挿入（上方向）　×

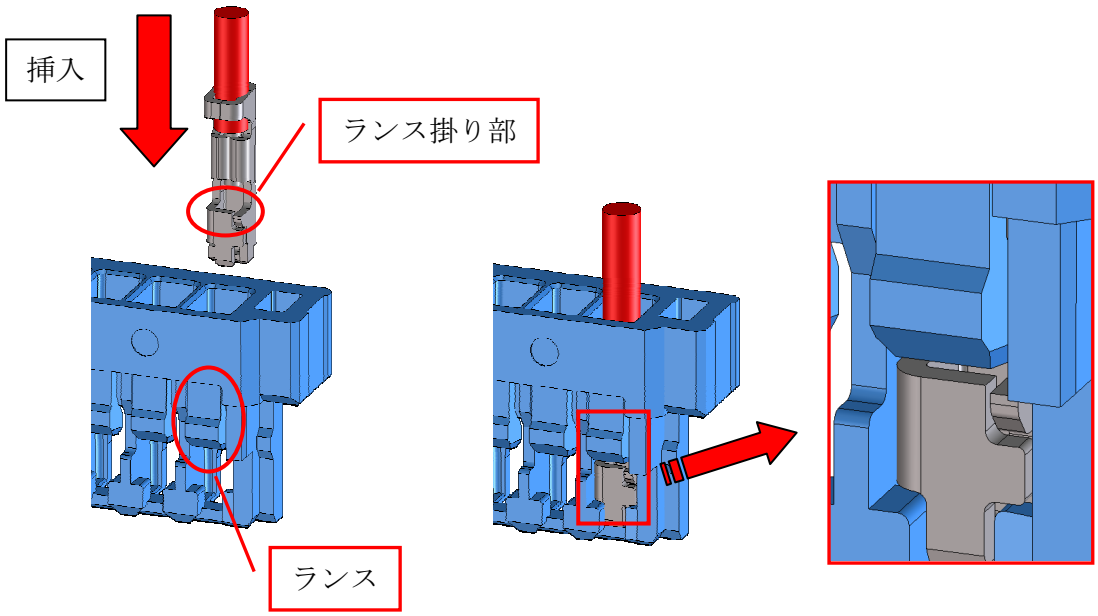




斜め挿入（上方向）を行うと、モールドランスが破損する可能性があります。

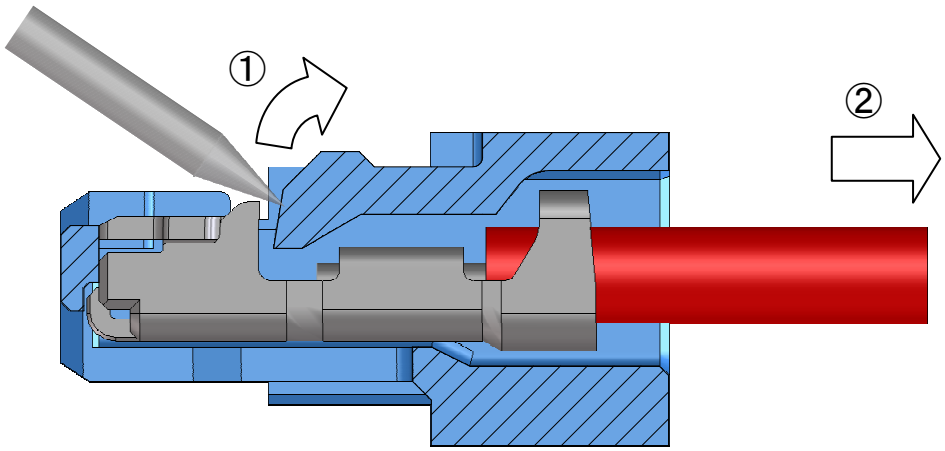
Feb.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

・圧着端子のランス掛り部が圧着ケースのランスに掛っていることを確認します。



※圧着端子のリペアについて

一度挿入した圧着端子を抜く時は、DF-C-PO(B)、又は先の尖った針などを使いモールドランスを持ち上げながらケーブルを引っ張って引き抜いて下さい。リペアを行ったことでランス強度が低下している可能性があります。リペアを行った圧着ケースは再利用せずに新しい圧着ケースをご使用下さい。



Feb.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.